

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大腸癌多発肝転移に対する腹腔鏡下肝切除を応用した計画的2期的切除

1. 研究の対象および研究対象期間

研究の対象：大腸癌多発肝転移に対して計画的2期的切除を受けられた方（開腹術あるいは腹腔鏡手術の如何は問いません）

研究対象期間：2019年9月から2022年8月まで

予定症例数：30例

2. 研究目的・方法

目的：大腸癌多発肝転移に対する計画的2期的切除の臨床成績を検討することでその有用性を明らかにし、かつ計画的2期的切除の際に開腹のみで施行した場合と腹腔鏡下切除を併用した場合とで臨床成績を比較し2期的切除における腹腔鏡下切除併用の意義について明らかにすることを目的とします。

方法：当院でこれまでに施行した腹腔鏡下切除の併用如何に関わらず計画的2期的切除を受けられた方の臨床データを集積し、かつ今後この術式を受けられる方の臨床データを集積したのち、3の項で示した各種臨床諸因子に関してデータ解析を行ないます。

研究期間

2019年9月1日～2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（年齢、性別、身長、体重、BMI、PS、ASA、既往歴、内服薬、診断名、病期、術前術後化学療法の有無）、腫瘍背景（個数、局在、転移時期、肝外転移）、手術詳細（施行術式、根治度、手術時間、出血量）、病理組織学的所見（原発巣および転移巣のそれぞれの、腫瘍の大きさ、肉眼型、組織型、リンパ節転移の有無、脈管侵襲、切除端までの距離）、治療成績（合併症・偶発症の有無、生存期間、転帰、再発の有無等）、臨床検査データ（血算、生化、凝固、腫瘍マーカー、CT所見、MRI所見、US所見）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院（消化器・一般外科）

氏名：田中邦哉

住所：227-8501 横浜市青葉区藤が丘 1-20

電話番号：045-971-1151

研究責任者：田中 邦哉